

# 県都グランドデザイン ニュースレター

VISION 2040

誰もが主役のまちなか、わたしから始まる未来。

## ABOUT

### 県都グランドデザイン ニュースレターとは？

「県都グランドデザイン」にもとづき、いまこの瞬間にも、福井まちなかで様々なプロジェクトが同時に進行しています。このニュースレターでは、そんなプロジェクトの進行状況を紹介していきます。このニュースレターを片手に、ぜひ福井まちなかに足を運んでみてはいかがでしょうか？

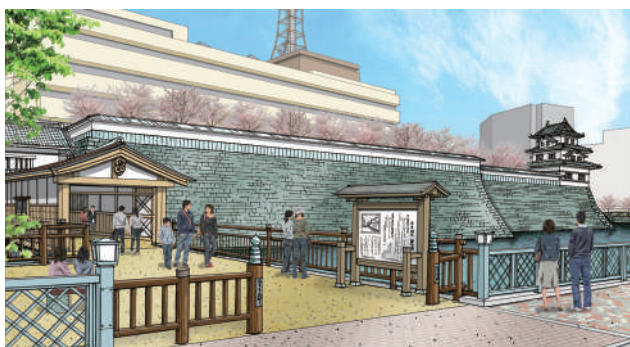


## 福井城址エリア

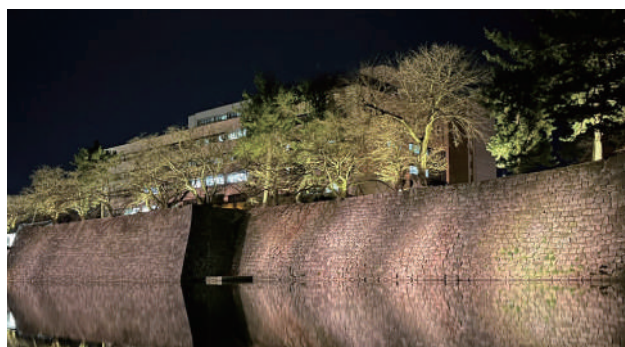
### 福井城址の魅力向上

坤櫓等の復元に向けて基本設計に着手。

夜の福井城の石垣に新たな魅力。



福井城址の歴史拠点としての魅力をさらに高めるため、今年度から歴史のシンボルとなる福井城 坤櫓（ひつじさるやぐら）と本丸西側土塀の復元に向けて基本設計や石垣の調査を進めています。坤櫓は本丸の南西隅に築造された高さが約16mもある城郭施設で、明治のはじめに撤去されました。復元されると福井駅を出て市道県庁線から見えるようになります。8月に発足した「福井城坤櫓等復元整備検討委員会」の意見を聞きながら、復元の具体化を進めていきます。



福井城本丸の西面石垣のライトアップを3月にリニューアルしました。毎日、日没から午後10時まで、お堀の外側から月ごとに替わる色の光が石垣を照らします。光に照らされた石垣や光が揺らぐお堀の水面など、昼とは違った顔を見せてくれます。来年3月までに残りの3面を整備し、光に包まれた福井城の夜の景観が楽しめるようになる予定です。



足羽川エリア

## 足羽川周辺エリアのにぎわい創出

### 多様な楽しみ方ができる親水エリアの整備が進展。

まちなかを流れる足羽川周辺で、親水空間の磨きあげに向けた整備が進んでいます。泉橋～幸橋間の河川敷では河原に降りられる階段護岸が、幸橋北詰付近では足羽川のにぎわい拠点となる「足羽川アクティビティセンター(仮称)」が建設中で、来年春には様々な楽しみ方ができる親水空間が整備される予定です。

### 河原を遊びつくすイベントを次々と実施。

足羽川の河川敷を利用したにぎわい創出イベントを開催しています。これまで、バーベキューや川遊び、ストリートカルチャーなどの多彩なメニューを実施し、まちなかの川で遊ぶ文化の定着を図っています。晩秋から冬にかけてのにぎわいづくりのために、焚き火を活用したイベントを11月・12月の毎週金曜・土曜に開催しました。



中)焚き火x音楽ライブイベント  
下)河川敷バーベキューイベント

中央エリア

浜町エリア

## 県都まちなか再生ファンド



### まちなかのリノベーションが進行中。

まちなかの持続可能なにぎわいを創生していくため、「県都まちなか再生ファンド事業」により、まちの魅力向上に寄与する店舗等の改修等を支援しています。これまで21件(令和5年11月現在)が認定され、コーヒーと日本酒が楽しめるお店など各所で整備が進んでいます。また、浜町では、今年度創設した「観光誘客に資する洗練された店舗等整備支援事業」を活用し、越前がにを前面に打ち出した店舗の開業も予定されています。



上)コーヒーと日本酒が楽しめるお店



右)越前がにを前面に打ち出した店舗イメージ

中央エリア

## 公共空間におけるにぎわいの醸成

### 道路空間の活用「ふくみちプロジェクト」



歩行者利便増進道路(通称:「ほこみち」)制度導入を目指し、福井駅近くの県道福井停車場線(中央大通り)と市道県庁線において、キッチンカーなどによる飲食の提供や、パラソルや植栽などを設置した憩いの空間づくりを「ふくみちプロジェクト」として実施してきました。

中央大通りでは、利用者や出店者などの声を踏まえ、居心地の良い道路空間となるよう、改修を進めています。



# “新幹線開業”に向けたプロジェクト

Project for the opening of the  
“Hokuriku Shinkansen”

まちなか全体

## 越前おろしSOBARプロジェクト



新幹線開業に向け、  
店舗の新規認定が進む。



「SOBAR(ソバル)」は「そば」と「パール(酒場)」を掛けあわせた新しい言葉で、そばと肴と地酒といった自慢の福井名物を一度に楽しめるお店の認定ブランドです。20店舗が認定されており(令和5年11月現在)、今後も増えていく予定ですのでご期待ください。



中央エリア

## 美と福の歴史見える化プロジェクト

美と歴史が体験できるライドを運行。

10月に、北の庄城址を発着点とした、「ふくとック」や「美バイク」といった楽しいのりもの「ふくふくライド」を試験運行しました。ふくとックは、福井城址や養浩館庭園を巡るルートと足羽山周辺を巡るルートで、ボランティアガイドの解説付きで周遊しました。本格運行に向け、試験運行を踏まえ、内容を検討していきます。



上)ふくとック



下)美バイク

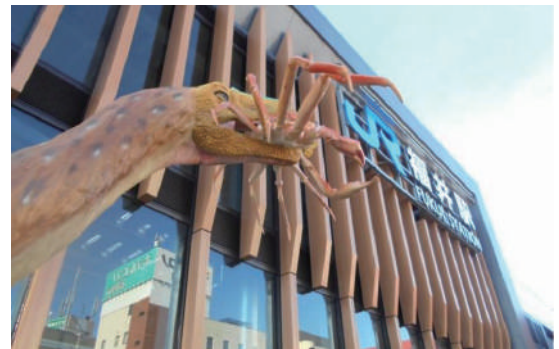
福井駅エリア

## ウェルカム恐竜増殖プロジェクト

福井市観光交流センター屋上に  
恐竜出現。



北陸新幹線福井駅と一体的に整備した福井市観光交流センターが10月にオープンしました。新幹線の車窓と同じ高さの屋上には、大小9体の恐竜モニュメントが設置され、来福者を出迎えます。ここでしか出会えない愛くるしい幼体の恐竜や、ARで巨大な恐竜が出現する仕掛けもありますので、ぜひお立ち寄りください。

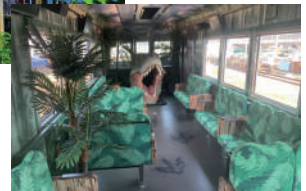


## 二次交通エンタメ化プロジェクト

「恐竜列車」出発進行!



7月の恐竜博物館リニューアルオープンに合わせて、えちぜん鉄道福井駅を発着する恐竜列車が運行開始しました。外装には71種類もの恐竜が描かれ、内装も恐竜の装飾がされており、恐竜博物館までの移動時間も含めて、恐竜王国福井を楽しめるコンテンツになっています。福井駅周辺では、「恐竜バス」や一乗谷に向かう「戦国列車」が発着するなど、乗りたくなる車両がたくさんあります。



まちなか全体

## 人と人がつながる学びの場づくり



### ふくま大学が本格始動。



まちなかを舞台に、さまざまな世代の人たちが交流し、学びの場をつくる「ふくま大学」。特定の教室を持たず、福井駅周辺のまちなか全体をキャンパスと見立て、まちのいろいろな場所で学科やゼミ、サークル活動などを実施しています。

足羽山などを歩きながら地球誕生から現在までの歩みを実感する「まちの暮らしをつくろうゼミ」や、まちを元気にする看護師“コミュニティナース”を座学と実習を通して学ぶ「まちのコミュニティナース学科」など、個人の興味や関心を引き出し、人と人とのつながりを深めながら、誰もが主役となれるまちとの関わり方を広げています。

今年度からは、まちの新歓や交流会、学都祭を新たに開催したほか、生徒として参加した方が、レポート記事を書いてくれたり、自分の関心事をテーマに今度はせんせいになったりするなど、活動が広がりを見せています。

「まちを舞台に学びたい、まちをもっと知りたい」と思う方は、ふくま大学のWEBサイトをチェックしてみてください。



まちなか全体

## まちなかの多様な移動手段の確保

### FUKU-CHARI(ふくチャリ)

電動アシスト自転車シェアリングサービス



まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」が、3月から24時間いつでも借りることができるシェアサイクルとして生まれ変わりました。13か所の貸出ポート、60台の電動アシスト自転車を準備しています(令和5年11月現在)。まちなか散策にぜひご利用ください。



### 「県都グランドデザイン」とは?

「誰もが主役に! 楽しさあふれる県都」を将来像に、福井まちなかに「たのしみ」「くらし」「しごと」の場をつくり、場のにぎわいがまた新たなにぎわいの場を呼び込む持続的な好循環を創出することを目的とした、民間と行政が一体となって策定した県都の将来構想です。



お問い合わせ先

まちづくり福井株式会社

〒910-0006

福井県福井市中央1丁目2番1号 ハビリン3階

✉ granddesign@ftmo.co.jp

☎ 0776-30-0330

あなたの声、お聞かせください。

県都グランドデザインの  
公式WEBサイトはこちらから



<http://www.ftmo.co.jp/granddesign/>

[発刊] 県都にぎわい創生協議会  
(福井商工会議所・福井県・福井市)